

平成27年度学術情報委員会活動報告

I. 会議等の開催状況

第1回 平成27年 10月5日(月) 於：京都大学附属図書館

第2回 平成28年 5月9日(月) 於：東京大学史料編纂所(福武ホール)

II. 活動内容

1. 今年度の学術情報委員会の活動について

今年度は、以下の3点を中心に取り組んだ。

(1) NACSIS-CAT/ILL 新システムへの対応

NACSIS-CAT/ILL システムについて、大学図書館が学術情報流通基盤を整備していく上で求める機能・仕組み等を国立大学図書館協会の意見として取りまとめ、これからの学術情報システム構築検討委員会と連携し、国立情報学研究所に提案する。

(2) 国際 ILL 検討タスクフォースとの連携

国公立大学図書館協力委員会および国際 ILL 検討タスクフォースと連携し、国内生産文献の海外への提供や英語文化圏以外からの文献入手等の改善についての検討を進める。

(3) 機関リポジトリ、電子ジャーナルへの対応

電子ジャーナル、オープンアクセスジャーナル、オープンデータ、機関リポジトリ等について、国立大学図書館協会以外の組織、団体および各大学等の活動動向も踏まえ、継続して対応を検討する。

2. GIF プロジェクトチームの活動について

(1) 日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクトについて

別紙「日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告」を参照。

Ⅲ. 委員構成

1. 学術情報委員会

委員長：	引原 隆士	京都大学図書館機構長
委員：	新田 孝彦	北海道大学附属図書館長
	結城 憲司	小樽商科大学附属図書館学術情報課長
	江川 和子	筑波大学学術情報部長
	尾城 孝一	東京大学附属図書館事務部長
	熊渕 智行	東京大学附属図書館情報管理課長
	上原 正隆	一橋大学学術・図書部長（平成28年3月31日まで）
	井上 修	大阪大学附属図書館事務部長（平成28年4月1日から）
	竹内 比呂也	千葉大学附属図書館長
	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長
	加納 哲	三重大学附属図書館長
	甲斐 重武	京都大学附属図書館事務部長
	高橋 努	広島大学図書館副図書館長
	吉田 素文	九州大学附属図書館副館長（平成28年3月31日まで）
	渡邊 俊彦	鹿児島大学学術情報部長
	細川 聖二	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長
事務：	島 文子	京都大学附属図書館図書館企画課長
	井上 敏宏	京都大学附属図書館図書館企画課長補佐

2. システム検討小委員会

主査：	甲斐 重武	京都大学附属図書館事務部長
	熊渕 智行	東京大学附属図書館情報管理課長
	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長
	高橋 努	広島大学図書館副図書館長
	渡邊 俊彦	鹿児島大学学術情報部長

3. GIFプロジェクトチーム

主査：	上原 正隆	一橋大学学術・図書部長（平成28年3月31日まで）
主査：	井上 修	大阪大学附属図書館事務部長（平成28年4月1日から）
	相原 雪乃	北海道大学附属図書館管理課長
	栗田 とも子	北海道大学附属図書館利用支援課相互利用担当（平成28年3月31日まで）
	河野 由香里	北海道大学附属図書館利用支援課相互利用担当（平成28年4月1日から）
	中谷 実邦子	東京大学地震研究所庶務チーム（図書）係長（平成28年3月31日まで）
	庄司 冬彦	東京大学附属図書館情報サービス課相互利用係長（平成28年4月1日から）
	赤木 真由子	一橋大学学術・図書部学術情報課レファレンス係
	鈴木 秀樹	京都大学附属図書館学術支援課長
	原竹 留美	京都大学附属図書館利用支援課利用支援掛長
	井上 修	大阪大学附属図書館事務部長（平成28年3月31日まで）

別紙に続く。

日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告

1. 日米 ILL/DD プロジェクト

1) 「文献複写サービス」参加状況

参加機関数は、平成 28 年 3 月 31 日現在、日本側 168、米国等側 116 であり、平成 27 年 4 月以降、日本側の変動はなし、米国等側で 5 館の増加である。

2) 「現物貸借サービス」参加状況

参加機関数は、上記同日現在、日本側 94、米国等側 89 であり、平成 27 年 4 月以降、日本側で 1 館、米国等側は 5 館の増加である。

3) 日米 ILL/DD 実施状況

平成 27 年度の日米 ILL/DD の実施状況は、表 1 のとおりである。前年に比べ、文献複写と現物貸借を合わせた依頼件数で 492 件減、受付件数で 56 件減となっている。受付の現物貸借が微増したほかは、全体的に減少した。平成 21 年度以降の実施状況は表 2 および表 3 のとおりである。

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 27 年度）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	598	332	0	930	248	467	0	715
現物貸借	184	124	0	308	220	755	0	975
合計	782	456	0	1,238	468	1,222	0	1,690

表 2 日米 ILL/DD 実施状況の推移（平成 21～27 年度）：日本側依頼

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
文献複写	完了	702	709	1,047	1,005	703	848	598
	謝絶	712	547	611	612	466	516	332
	合計	1,414	1,256	1,658	1,617	1,169	1,364	930
	謝絶率	50.4%	43.6%	36.9%	37.8%	39.9%	37.8%	35.7%
現物貸借	完了	190	168	263	240	217	225	184
	謝絶	146	187	175	164	249	141	124
	合計	336	355	438	404	466	366	308
	謝絶率	43.5%	52.7%	40.0%	40.6%	53.4%	38.5%	40.3%

表 3 日米 ILL/DD 実施状況の推移（平成 21～27 年度）：日本側受付

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
文献複写	完了	457	375	443	302	320	337	248
	謝絶	673	534	538	456	531	466	467
	合計	1,130	909	981	758	851	803	715
	謝絶率	59.6%	58.7%	54.8%	60.2%	62.4%	58.0%	65.3%
現物貸借	完了	188	184	241	167	218	246	220
	謝絶	688	629	641	590	807	697	755
	合計	876	813	882	757	1,025	943	975
	謝絶率	78.5%	77.4%	72.7%	77.9%	78.7%	73.9%	77.4%

2. 日韓 ILL/DD プロジェクト

1) 参加状況

参加機関数は、平成 28 年 3 月 31 日現在、日本側 119、韓国側 324 館となっている。
平成 27 年 4 月以降、日本側では 1 館減少、韓国側で 3 館の増加である。

2) 日韓 ILL/DD 実施状況

平成 27 年度の実施状況は、表 4 のとおりである。前年に比べ、依頼件数は 10 件減、
受付件数は 93 件減である。平成 21 年度以降の実施状況は表 5～6 のとおりである。
日本側受付件数が初めて減少した。

表 4 日韓 ILL/DD 実施状況（平成 27 年度）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	41	10	0	51	2,640	1,840	0	4,480

表 5 日韓 ILL/DD 実施状況の推移（平成 21～27 年度）：日本側依頼

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
文献複写	完了	25	61	53	78	39	52	41
	謝絶	12	25	10	23	12	9	10
	合計	37	86	63	101	51	61	51
	謝絶率	32.4%	29.1%	15.9%	22.8%	23.5%	14.8%	19.6%

表 6 日韓 ILL/DD 実施状況の推移（平成 21～27 年度）：日本側受付

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
文献複写	完了	2,108	1,987	2,214	2,442	2,668	2,719	2,640
	謝絶	786	939	1,099	1,415	1,645	1,854	1,840
	合計	2,894	2,926	3,313	3,857	4,313	4,573	4,480
	謝絶率	27.2%	32.1%	33.2%	36.7%	38.1%	40.5%	41.1%